

我が母校の卒業式にあたり、同窓会を代表してお祝いの言葉を述べさせていただきます。

卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。保護者の皆さま、心からお祝い申し上げます。

また、校長先生をはじめとする先生方のこれまでのご功勞に対し、心より敬意を表します。

卒業生の皆さん、私たち同窓会会員一同、皆さんの入会を心より歓迎いたしております。今や、卒業生会員は約 23,000 人。同窓会は、社会の様々な分野で活躍する同窓生の人的ネットワークを活用し、在校生の高校生活がより有意義で豊かなものになるよう、母校発展のためのお手伝いをしています。皆さんも体験された同窓生講演の講師になる等、これからは、先輩として母校の後輩達のために同窓会活動に積極的に参加されることを期待します。

さて、高校時代の友人、先生方との付き合いは、会社などの実社会でのものとは異なり、世俗的な利害・打算が絡まない、純真で、今思えば、大変大切なものです。勉強や、生徒会・クラブ活動、あの弥生野祭・体育祭、そして合唱祭、これらを通じて培われた先生、友人との「ご縁」をどうか大切にしてください。これから厳しい生存競争社会に入っていく皆さんにとって、高校時代の友人と先生は、心の安らぎを与えてくれ、時には厳しいアドバイスをしてくれる「宝物」です。

ところで、人類の人口増加は、言葉をもった 10 万年前、農業と定住を開始して都市が誕生した 1 万年前、そして、産業革命が起きた約 250 年前が転換点となっています。とりわけ、産業革命以降の人口増加率は極めて大きく、今の人類は、生存を支える地球資源を、その再生循環スピード(資源リサイクルスピード)を上回って消費し、未来に於ける人類社会の持続可能性が問われています。

今日の地球は、富める人や国による地球資源の浪費、原子力と人間社会の関わり方、南北格差や国際的テロの拡大、といった深刻な問題に直面しています。このような社会環境の荒廃に加え、IT(インフォメーション テクノロジー)に頼った無味乾燥な人と人とのコミュニケーションが蔓延し、人間としての感情が感じられない犯罪が多発するようになりました。

近年、地球の自然・社会環境が大きく変動し始めているように思えてなりません。

このような環境変動の中で、人類が生存し続けるために、その一構成員である私たち一人一人が、今、為すべき、或いは出来ることは何なのか？

勉強、読書、他の人との顔と顔とをつき合わせた議論などを通じ、皆さんの知識を先ず蓄積し、それらに基づいて諸問題を分析、そして、自分自身の考えを形成し、実現に向け邁進して下さい。その際、「他者を思い遣る心」、「和を貴ぶ心」、「おもてなし」、という「心」は、人心が荒みつつあるこれからの人類社会が特に広く必要とするものであり、これらの「心」を培ってきた日本文化に「誇り」を持つと同時に、大切にしてください。

個々の人間の能力には、天才を除いて大きな差、違いはありません。明日の日本を担うのは皆さんです。この心持を常に胸に秘め、皆さんの素晴らしい能力を、日本と国際社会の発展、延いては人類の未来のために活かしてほしいと思います。期待しています。

7 年後の 2022 年、私たちの母校は創立してから 100 周年を迎えます。この記念すべき百周年、同窓生として、ともに、祝おうではありませんか。

以上をもちまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、まことにありがとうございます。

平成 27 年 3 月 13 日

東京都立足立高等学校同窓会会長 金成秀幸